

防費で、予防接種事業337万7,000円を増額し、10ページをお開き願います、4款2項清掃費では、1目清掃総務費で、廃棄物減量等対策事業16万5,000円を追加計上いたしました。

6款1項農業費では、3目農業振興費で、農林水産業創意工夫プロジェクト支援事業249万円、新規就農総合支援事業2,579万7,000円で、2,828万7,000円の計上などで、1項合計2,868万9,000円の増額、11ページになりますが、2項林業費では、2目林業振興費で、緑環境交付金事業61万円を計上いたしました。

7款1項商工費につきましては、3目観光費で、公園等維持管理業務104万2,000円の追加などで、1項合計158万8,000円を計上いたしております。

8款3項河川費では、最上川堤防美化運動事業69万3,000円を計上し、4項都市計画費につきましては、1目都市計画総務費で、都市計画調査事業1,155万円を計上いたしました。12ページをお開きください。8款5項住宅費につきましては、1目住宅管理費で、公営住宅長寿命化計画策定事業で40万円を減額いたしております。

9款1項消防費では、4目消防費で、防災対策事業200万円と地域支え合い体制づくり事業1,053万9,000円で、合計1,253万9,000円を増額いたしました。

10款1項教育総務費は、2目事務局費で、私立幼稚園就園支援事業25万円の減額と、13ページになりますが、2項小学校費の1目学校管理費で、積雪により損壊した各小学校施設を復旧するための工事請負費などで、153万1,000円を計上、3項中学校費の1目学校管理費でも、雪害による復旧工事費81万1,000円を計上しております。4項社会教育費では、5目芸術文化費で、遺跡保護活用事業44万3,000円を計上し、5項保健体育費では、1目保健体育総務費で、総合型地域スポーツクラブ創設推進事業

147万2,000円の計上などで、5項合計199万3,000円を増額いたしました。

以上が一般会計補正予算第1号の概要でございます。よろしくご審査賜りますようお願いいたします。

## 平成24年度長井市一般会計補正予算第1号に関する総括質疑

○安部 隆委員長 概要の説明が終わりました。これから質疑を行います。

ここで、総括質疑の発言通告がありますので、順次ご指名いたします。

### 小関勝助委員の総括質疑

○安部 隆委員長 順位1番、議席番号15番、小関勝助委員。

○15番 小関勝助委員 おはようございます。台風4号、日本列島縦断したわけです。大変被害あった方には心からお見舞い申し上げます。私も朝からあちらこちらで聞いたんですが、山形県は、ちょっと被害あったそうですけれども、長井市にはかなりきのうの夜からサクランボ屋さんとかハウスさん準備されたそうですけれども、幸い、進路がそれたということで、不幸中の幸いだったと思います。そんなことで、やはり災害はいつあるかわからないと、備えあれば憂いなしというようなことが実感として感じられました。そんなことを申し上げながら、通告しております4点について、順次通告に従いまして、それぞれ答弁者をお願いしたいと思います。

最初に、長井市の教育行政について、このことについて、最初に教育長にお伺いします。

大変長井市では、ずっとこういうすばらしい長井の教育と、こういう年度ごとに、ことしは小桜館ですか、かなりボリュームありますので、このことについてずっと見させていただきました。大変中にはすばらしい長井の教育について、心のこもった記述をされてます。こんなことで、今回、加藤教育長さんには、この4月から新たに赴任されました。心から期待を申し上げます。

私は、教育というのは、教育は人なりということで、教育は人づくりが原点だと。そして、やはりこれは何の仕事でもそうなんですが、特に教育は聖職だと、こういう考えをずっと貫いております。ですから、そういうことで、加藤教育長は今まで、学校教育はもちろんですが、生涯教育、いろいろ教育全般にわたっていろんな豊富な経験をお持ちのようです。学校教育はもちろんですが、置賜教育事務所の所長も長く勤められ、それぞれの校長先生もなされました。

そういう中で、長井市の教育行政、ずっと私も10年くらいさかのぼって教育を見せていただいたんですが、その中の教育行政、その時々には教育委員長さんはじめ教育長さん、それぞれやはり長井市の施政方針がかなり影響するなど、こんな思いがしました。特に今年度は、去年からですか、教育方針の頭に3万人復活を目指す長井市の教育、これを掲げてます。これは大変お世話になった大滝教育長のもとで作成されたのかと思うんですが、そういう中で、基本になるのは、長井市の心をはぐくむ文教のまちづくりを目指すとなっております。

それで、教育長にお伺いしますが、そういう中で、今回から教育行政のトップを今度は担うわけですが、教育長としての現在の心境といいますか、ご所見なりこれから長井市の教育に望むお考えなどあったら、お聞かせ願いたいと思います。

○安部 隆委員長 加藤芳秀教育長。

○加藤芳秀教育長 おはようございます。小関委員の質問にお答えいたします。

教育長になってということでもありましたけども、テーマが長井市の教育行政ということでありますので、これからの長井市の教育行政の基本方針についてお答えしたいというふうに思います。

3万人復活を目指す長井市にとって、教育の充実というのは、非常に重要なポイントであるというふうに踏まえております。子供が学習や活動に充実感を持って、通いがいいのある学校、そして教師もやりがいや働きがいを感じて勤務できる学校、保護者が子供の成長を実感し、通わせてよかったと感じる幸せ感のある学校教育の充実、そして長井市に住んでよかったと思える生涯学習の充実に努めていくことが大切だというふうにとらえております。

私、これまでの教員生活を通じて感じてきましたのは、教育の基本、教育の効果を上げるものになるものは、信頼関係だというふうに思っております。これなくして教育というのはあり得ないし、そのために心と心が通い合うこと、このことが本当に大事なものだというふうに思っております。子供同士、教師と子供の信頼感、教師と保護者の信頼感、そして学校と地域の信頼感、これらの信頼関係を一層強いものにしてしながら、教育の充実に努めていきたいというふうに思っております。

豊かな自然、先人が築いてきた歴史、文化、生活習慣などによってはぐくまれてきました長井の心の育成を基底に据え、長井を愛し、誇りに思うたくましい長井の子供を育てるとともに、生涯学習、生涯スポーツの分野においても、お互いに支え合う互助の精神を醸成する取り組みを進めてまいりたいというふうに考えております。

今年度から、学校教育においては、中学校が新学習指導要領の完全実施となりました。今回

の改訂では、これまでの流れと変わりました、学習内容がふえて、教科の指導時数などもふえております。各学校においては、活用する力を含めた確かな学力を育てるわかる授業の充実に一層努めてまいりたいというふうに考えております。また、生きる力の基盤となる日常の生活習慣、早寝早起き朝ごはんに代表されるわけですけれども、そういった基本的なことを自己管理できるようにする取り組み、これを家庭と連携しながら取り組んでいきたいというふうに考えております。

既に各小中学校のPTAでは、アウトメディアチャレンジとして取り組みを進めていただいている学校も出ております。不登校などの学校不適應の未然防止のために、幼・保・小の連携、小・中の連携に努めるとともに、特別支援教育の充実にも力を入れていきたいというふうに考えております。

軽度の発達障がいを持つお子さんがふえております。できるだけ早い時期に、周りが気づいてあげ、その子に合った指導に努めることで、二次障がいを起こさない仕組み、これを長井市バージョンとしてぜひつくっていきたいものだなというふうに思っております。幼児期からというふうになると、学校教育だけでなく、市の管理課だけでなく、福祉あるいは健康課等との連携も必要になってくるんじゃないかというふうに思っております。

生涯学習の振興のためには、公民館などを拠点とする学習活動の充実、活性化を図ることが必要であります。各地区公民館の指定管理者制度がちょうど第2期、この4月からスタートしたところでもございます。各地域の要請にこたえながら、今年度から取り入れた仕様書の中にも入れましたけれども、地域づくり事業なども取り入れて、各地域の生涯学習としての拠点として機能していけるような、あるいは地域づくりの拠点となれるような、そういった公民館活動

の充実というものにも取り組んでいければなどというふうに思っております。

生涯スポーツの振興については、今年度中に総合型地域スポーツクラブの設立が準備されつつあります。新たなスポーツ教室の募集なども進められており、市民一スポーツのすそ野の拡大を期待しているところでございます。

細かなこと、それぞれありますけれども、大まかなところだけ申し上げて、委員の質問の答えというふうにさせていただきます。

○安部 隆委員長 15番、小関勝助委員。

○15番 小関勝助委員 どうもありがとうございました。

これは私の感想といえますか、教育長に対するの思いなんです、今、信頼という言葉がございました。実はことしの3月の卒業式に教育長は南中の校長先生だったわけですけれども、本当にこのときは感動しました。後で聞いたんですが、これサプライズだったそうですね。やっぱりあのぐらいの大きな中学校が3年生が校長さんにさわやかな、そして感謝の大きな合唱ですか、本当に私も胸が熱くなったわけですけれども、やはりこういうこと、小学校でも感じるんですが、我々、非常に3・11、去年の震災、大きなもちろん心の傷、とうとい命や被害もあったわけですけれども、これによって日本の心といえますか、忘れ去られた助け合いの心、思いやりの心、そしてきずな、これが、大きな災害があったわけですけれども、こういうことが災害によってよみがえったということは語弊なわけですが、こういうことが改めて出てきたのかなと、こんな思いも強くしております。ぜひ、教育長には、これからも教育行政のトップとして、ひとつ信頼ということもあったわけですが、それを柱に、長井の心をはぐくんでいただきたいと思っております。ありがとうございました。

それでは、次に、2番目の情報管理規程について。これは最初に企画調整課長に通告してま

すので、お伺いしますが、これ企画調整課長からは、長井市情報推進計画、これいただきました。ちょっとこれ確認のためにお聞きしたいんですが、実はこれから質問に入る中で、学校関係の情報、この関係です。これの19ページに、これはあくまでも教育委員会のほうには、これから教育委員会で策定するんだと、ここは長井市一般事務ですか、それだけに限るんだということに書かれてますが、そしてこれから教育委員会にもこれ資料いただけてますが、策定するわけですけども、その辺の連携とか、上位とか下位はないわけですけども、その辺の関係はどうなりますか。それだけ1点、教えてください。

○安部 隆委員長 遠藤健司企画調整課長。

○遠藤健司企画調整課長 小関勝助委員のご質問にお答え申し上げます。

委員のご指摘の19ページの記載については、学校教育現場はそれなりの市長部局とは違う特殊性があるということがありまして、教育委員会での情報管理あるいはセキュリティーの対策をとるというふうにしてしておりますが、やはり市長部局のほうが先行してネットワークあるいはシステムの導入等々については経験がございますので、情報等は教育委員会のほうにご提示申し上げながら、また教育委員会のほうからも幾度かご相談をいただいておりますので、こちらのノウハウについては、十分に連携して提供してまいりたいというふうに考えております。

○安部 隆委員長 15番、小関勝助委員。

○15番 小関勝助委員 ありがとうございます。

それでは、管理課長、お伺いします。

今回、当初予算で小学校、コンピューターですか、これが591万9,000円、そして中学校に353万2,000円というような大きな予算が計上されました。これは市長の施政方針にもあるように、情操教育ですか、そういうことも入れるということの方針のようですけども、コンピュ

ーターはまだ入っていないようです。電子黒板も入れるとなっておりますが、これ、導入時期とか方法、これいつになりますか。そこをお聞かせください。

○安部 隆委員長 鈴木一則管理課長。

○鈴木一則管理課長 小関委員のご質問にお答えいたします。

今現在、教職員用パソコンの配置ということで、現在、7月末に導入を予定して、夏休み期間中に、8月に研修を重ねて、操作講習を行うというふうな形で今、スケジュールで進んでおるところでございます。

○安部 隆委員長 15番、小関勝助委員。

○15番 小関勝助委員 導入については、どのような方法を考えておられますか。

○安部 隆委員長 鈴木一則管理課長。

○鈴木一則管理課長 今現在、検討をしておりますけども、現場のほうのいろいろお話を聞いて、単なるパソコンを導入することだけではなくて、校務支援ソフトという、学校の先生方、今、大変繁忙でいらっしゃいますので、そういう部分をできるだけ軽減して、子供たちとの時間をつくれるような形のソフトがございまして、そちらを含めた形で導入を検討しております。

○安部 隆委員長 15番、小関勝助委員。

○15番 小関勝助委員 これは入札ですか、どういう方法ですか。その辺ちょっと教えてください。

○安部 隆委員長 鈴木一則管理課長。

○鈴木一則管理課長 基本的には、現在、プロポーザル的な部分で考えてます。いろいろソフトそのものの取り組みというのは、メーカーさんいろいろさまざまありまして、校務支援ソフトの中身もさまざまで一長一短がございます。これについては、いろいろと学校サイドとどのものがいいかというふうな、学校側のサイドで使いやすいものというふうなことを考えておりますので、そちらのほうでそのような方式がいい

のではないかという方針を今立てて、進めようとしているところでございます。

○安部 隆委員長 15番、小関勝助委員。

○15番 小関勝助委員 ぜひ、これは後のメンテナンスですか、そういうことも出てきますので、その辺の分については、ひとつ慎重にといいますか、その辺お願いしたいなど、こう思います。

それでは、次に移りますが、次に、同じく情報管理の中で、先ほど企画調整課長からも説明いただきました。長井市の情報管理規程計画によると、先ほど説明があったように、長井市情報管理規程によるセキュリティ対策がなされております、長井市の情報計画ですけれども。しかし、今回、今説明あったように、小中学校にコンピューターが導入されるということになって、新たな情報基盤の整備が必要になります。そういうことで、教育委員会では、長井市教育情報化計画、これも資料いただきました。これが計画されているようですが、特に教育委員会では、長井市教育情報化計画とセキュリティポリシーにゆだねるというようになっておりますけれども、これは昨年11月策定されてるようです。これはやはり国や県の取り組みなどもあるようですけれども、今後の長井市、これからこの情報の基本計画、どのようにこのコンピューター導入によって、どのような対応が考えられますか。その辺、管理課長、聞かせてください。

○安部 隆委員長 鈴木一則管理課長。

○鈴木一則管理課長 お答えいたします。

小関委員ご指摘ございましたが、やはり現場の部分というのが、今現在長井市が行っているみらいねっこの部分の管理規程とは大きく違いがあります。現実的には学校での作業、それから一部、家庭などに仕事を持ってされるというふうな部分もあって、さらにはそれぞれ学校ごとの特徴などもございまして、なかなか市の情

報管理規程にのっって行いますと、非常にやっぱり厳しいものがあるということで、先ほど企画調整課長からお話ありましたように、基本的な連携という部分は外せないにしても、例えばUSBメモリーを実際に自宅に持ち帰りたいというふうなご要望もありますので、そちらについては、例えばセキュリティー対策をとるために、自動暗号化された情報漏えい防止ソフトを組み込んだものを導入するとか、さらには、例えばフリーソフトって、先生方によってはいろんな使いやすさのためにソフトを組み込みたいというご要望もありますので、そのためには事前にインストールが、基本的には無理なんですけれども、事前に申請をいただいて、許可したソフトについてはインストールできるというふうなことで、できる限り行いたいと。

それから、外部とのメールのやりとりについては、今後導入予定の校務支援ソフトでさらに検討いたしますけれども、基本的にはまずできるだけ残せるような形で行っていきたく思います。ただ、根本はやはりいろいろ社会問題にもなってますが、いわゆる学校の個人情報って非常に重大な問題になりますので、こちらの部分をやはり外すということが一番大きな今後の問題になりますので、できる限り皆様にもご協力いただきながら、セキュリティー対策を十分とらせていただいた中で、やはり導入というのを考えていかなければならないというふうなことで考えております。

○安部 隆委員長 15番、小関勝助委員。

○15番 小関勝助委員 大変、管理課長もいろいろ情報をお持ちのようですけれども、やはり今おっしゃったとおりです。確かにコンピューターが入るのは歓迎しますということですけど、今の問題が出るんです。先生もやはり、教育長からも先ほどあったように、かなり仕事が大変なようです。学校だけではどうしてもできないことがあると。テストの採点とか学校通信とか、

さまざまな通信簿の整理とか、さまざまあるようです。そして、先生もいろいろ家庭のお持ちや子育てしてる方、さまざまあるんです。ですから、今、管理課長からは、そういうことで対応しますよというような話がありましたので、これから先生の声をぜひ聞いていただいて、セキュリティガイドライン、これを策定されるというようなことも聞いてますので、そのような方向で、せっかく入ったコンピューターが逆に先生の重荷にならないようなことで、ひとつお願いしたいなと思います。

それでは、次に移ります。3番目の学校の暑さ対策について、公平な施設になっているかについて、これについてお伺いしますが、これについては、ちょっと私もかなり質問するにはいろいろ悩んだところがありました。今、学校の施設、いろいろ問われてます。学校には、長井市の八つの学校があるわけですが、今、何周年ということで、長井小学校、平野小学校、120周年あったわけですが、その都度に、いろんな記念事業、これがあります。そうすると先生方が学校に大変お世話になったというようなことで、お礼も込めていろんな贈り物もされているわけですが、私の質問は、第1点ですが、暑さ対策です。

これについては、前に、大滝教育長のときですか、町田議員が暑さに対しての教育長の見解を聞いたところ、暑さも教育のうちだというような答弁があったわけですが、それは私もわかるわけですが、なかなか子供さんは我慢してるようです。ただ、私も、その辺、学校見せていただいたら、工夫もされてます。ブラインドをしたり、風を入るようにしたり、日陰をしたり、そういう中でいろいろ学校も工夫されている中で、残念といいますか、これは公平性から私は残念だと思うんですが、ある特定の学校にエアコンが設置されてるんですね。それも職員室と会議室ということで。これはいかな

ものかなと。ある父兄から、これ、ご指摘ありました。入ってる学校からも、入ってない学校からも両方からあったんです。私も確認したところ、やっぱりそういう事実のようですが、やはりこういう施設という、贈り物をいただく場合、何か教育委員会との事前に話し合いでも何か持たれるんですか。その辺はどうですか。これ管理課長ですか、教育長ですか。ちょっとそこをまず最初、教えてください。

○安部 隆委員長 鈴木一則管理課長。

○鈴木一則管理課長 お答えいたします。

具体的にどのようなものを残されていくか。記念品としてされてるかという部分は、実際的には、いただくところといただかないところとありまして、今、ご指摘ございましたように、その件についてはお話はございませんでした。ですので、通常の私どものところとしますと、寄附採納というふうな部分になりますので、当然ながら備品扱いになりますので、事前に財政課と総務といろいろと協議をさせていただいて、今後、それをいただくことがよろしいかどうかを事前に協議いたしますが、今ご指摘の件については、残念ながらなかったということでありました。

○安部 隆委員長 15番、小関勝助委員。

○15番 小関勝助委員 ただいまのことについて、教育長にお伺いしますが、やはりピアノとかさまざまいろいろ運動具とか、そういうことだったら私はこういう問題出てこないと思うんです。問題は暑さ、エアコンです。エアコンというのはお金もかかります。ですから、やはり入ったことについては何ともならないのかなと思うんですが、公平性からいって、今後、こういう受ける時も、教育委員会なら学校あたりをお願いして、事前にこういうことをお願いしてるんですよというようなことも必要だと思いますよ。入ったことは大変これはありがたいことなんで、今後、入っていないところに、公

平性のところから、この件については市長にお聞きしますけれども、やはり教育委員会でこれ検討なされると思うんですが、その辺はどう考えられますか。

○安部 隆委員長 加藤芳秀教育長。

○加藤芳秀教育長 今、小関委員からあった件がありますが、そういった寄贈品については、その後電力を使うものとか、ランニングコストのかかるものについては、教育委員会のほうにぜひ相談いただきたいということを事前にそういうふうをお願いしていきたいというふうに思っております。

また、バランスが崩れたということで、じゃあ、ないところに整備ということについては、これはまた別な問題になりますので、公費としては出てないわけでありまして、そういった面での公平性っていったときに、また新たな問題も出てくるのかなというふうに思いますので、今のところ、長井市内全体としては、一番弱った子供の保護という意味で、保健室にだけはまず、昨年度、整備していただいたところでありまして、その以後のことについては、周りの学校等の様子なども見ながら、計画的に、大変お金のかかることでもございますので、進めていきたいなというふうに思っております。以上です。

○安部 隆委員長 15番、小関勝助委員。

○15番 小関勝助委員 教育委員会でも今後の対策などもぜひ検討していただきたいと思いますが、この件について市長にお伺いしますが、これも市長もご存じだと思うんですよ。このことについて、どういう市長はご見解でありますか。今、教育長は、公平性、これも大事けれども、お金のかかることだと、新たにないところに入れるについては。ただ、今は公平性を欠いてるわけですよ、いくらもらったとしてもね。ですから、どこの学校でもエアコンというのは欲しいと思うんですが、その辺、市長の見解を

お聞かせください。

○安部 隆委員長 小関議員、公平性っていうことをうたってますから、どの学校なんですか。もし言えるなら言っていた方がいいが。

○15番 小関勝助委員 どこの学校というと、長井北中学校です。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 大変恥ずかしいんですが、私は知りませんでした。通常、寄附採納の場合は、私のところまで、特に教育委員会のほうで寄附採納を受けることが多いんですが、私のほうまで決裁が回ってまいりまして、一応自筆で礼状を書いているわけなんですけど、エアコンについては、回ってきませんでしたし、このたび、小関委員の質問でお聞きして、正直びっくりしたところです。

教育委員会のほうに聞いてみますと、寄附採納は拒否したと、勝手にされた。しかし、これ、工事が伴うものですから、非常に問題だなというふうに思っております。結局、各学校経営は校長先生がなさってるわけですよ。ただ、教育委員会のほうと綿密な連絡をとりながら、特に学校の備品あるいは必要な設備、消耗品等々については、教育委員会のほうから予算を措置してるわけなんですけども、そういったことが全くないままにされたものであったということで、非常に不適切なことをされたなというふうに実は困惑してるっていいですか。ですから、今後はそういったことをきちんと教育委員会のほうに相談した上で、教育委員会としては財政課なり総務課なり、必要な措置をとることになると思います。

ご質問の件でございますけれども、結局、教育委員会の了承を得ないで、例えば扇風機なども設置された経緯があります。そうしますと、扇風機がない小学校、中学校が7校で、1校だけあるんですね。それから、1校だけ職員室と会議室にエアコンがあると。ただ、必要な部分

については、22年の国の臨時対策費で、全部の小中学校に保健室にはエアコンを入れさせていただきましたので、それ以外、じゃあ扇風機をどうする、あるいはエアコンをどうするということについては、私はすべきでないだろうと、今の段階で。公立の小中学校でエアコンが入るところってというのは、県内でもほとんどありません。ゼロではないようですが。また、扇風機もほとんど入っておりませんで、西置賜では1校もないということでもありますので、ですから、その辺などは、やはり横並びっていうのが必ずしもいいわけではないんでしょうけども、教育としては、必要なときに適切に対応するべくしてまいりたいと。

したがいまして、公平性という点からいって、片方は寄附いただいたものという格好になるわけですね。ですから、じゃあ、寄附いただかなかったところに公費で設置するというのも、新たな不平等みたいなところが生じますので、今のところはそういったことを考えてはおりません。以上です。

○安部 隆委員長 15番、小関勝助委員。

○15番 小関勝助委員 なかなかこの問題はちょっとデリケートでありますので、私はこれ以上言えませんけれども、やはり余り、せっかくこの先生も善意で贈ったと思うんですよ。暑いということで、先生方、職員室が大変だということもあって、会議室も大変だとあって贈ったと思うんですが、善意がこのような結果になったということで、私は非常に残念だと思うんです。ですから、今後の対応については、市長なり教育長にきちっと対応していただくということで、これについては、まず今後の課題ということにさせていただきます。

それでは、次に移ります。次に、教育施設の防犯対策について伺います。

この間、飯豊町ですか、大変かなり被害があったということもあったりして、非常にこれこ

ういうことが出るとどうなのかなと、こういう心配する中で、今、長井市の各教育施設の防犯対策、これどうなってますか。これは管理課長ですか。

○安部 隆委員長 鈴木一則管理課長。

○鈴木一則管理課長 お答えいたします。

この間、5月30日の日にあった飯豊町の事例でございますけども、学校の校舎のガラスを割って侵入して、さまざまパソコンに水をかけて壊したり、それから盗まれたものもあるというようなことでした。

長井市の防犯の状況でございますが、昭和55年ごろからですけども、警備保障会社に委託業務として、火災警報といいますか、火災監視を24時間、それから防犯については、職員室、事務室などの管理諸室、いわゆる貴重品とか個人情報などさまざまございますので、そちらのほうにつきましては、セットから解除までというふうな部分で、契約を結ばせていただいて、行っておるところでございます。

○安部 隆委員長 15番、小関勝助委員。

○15番 小関勝助委員 やはり今、かなり学校関係などは、防犯に対して敏感なようです。考えられるのは、防犯カメラ、この設置などもされてる学校があると聞いてるんですが、この辺の防犯カメラ設置についての考え方なり、ぜひ私は、少しずつでも結構ですから、設置すべきと思うんですが、その辺は管理課長どうですか。

○安部 隆委員長 鈴木一則管理課長。

○鈴木一則管理課長 お答えいたします。

都会と違いまして、非常に地方の学校というのは無防備といいますか、隣の長井小学校見ましても、四方八方から校地内に入ることができるというふうな状況にありますので、全体的にすべてを遮断するという事はなかなかできないのですが、委員おっしゃられましたように、昨年ですか、山形東高校のほうの不審者侵入事件がございまして、傷害のほうにも発展したわ



けですけども、全国的にもそういうようなこと  
もございますので、山形県の県立高校について  
は、防犯カメラの設置というふうに順次進んで  
いるというふうにお伺いしています。

ただ、義務教育の小学校、中学校について、  
まだ県内的には山形市の一部が入ってきている  
というふうにお聞きをしておりますけども、当  
然ながら、最低でも校舎内に不審者が入らない  
というふうな方策とすれば、防犯カメラの設置  
もですけども、もう一つ考えられるのが、入り  
口のオートロック化というふうな部分も一つ方  
法があるのかなというところで、全国的には例が  
あるようです。

そこまで、大変システムのにもお金のかかる  
ことでございますので、それは将来的な部分で  
は順次視野に入れた整備というのは必要という  
ふうに、私たち教育委員会としても考えていき  
たいと思います。これは当然ながら、財政課と  
も整備の部分で十分協議させていただきながら  
計画的に進めなきゃならないというふうに考え  
ておるところです。

○安部 隆委員長 15番、小関勝助委員。

○15番 小関勝助委員 ぜひそういうようなこ  
とで進んでいただければと思います。

時間もあれですので、時間配分……。

次に、武道の指導について通告していますが、  
これはちょっと飛ばしまして、何かの機会にひ  
とつ聞かせていただきますので、2番目に入  
ります。

2番目の公共事業の入札制度のあり方につ  
いて。

残念ながら、この間、新聞報道で談合情報が  
あったわけです。この間ですか、文教の協議会、  
それでいろいろ説明あったと聞いてますが、副  
市長にお伺いしますが、今回、これから長井市  
も大きい事業がどんどん進む中で、やはり私は  
入札制度のあり方、私も監査委員のとき原則的  
には一般競争入札でないですか。何で指名競争

入札とか、随意契約はまた別なんですけども、  
そういうことで、今回、この談合出たのも指名  
競争入札って伺ってます。後で伺いますけれど  
も、体育館の電気工事も指名競争入札で不調に  
終わったと。何かあるんですかね、これ、一般  
競争入札できない理由。そこ、ちょっと副市長  
に教えてください。

○安部 隆委員長 新野 潔副市長。

○新野 潔副市長 小関勝助委員の質問にお答え  
いたしますが、ご案内だと思いますが、長井市  
におきましては、平成20年に入札制度の改正を  
行いまして、入札の一層の公正性、それから透  
明性、そして競争性を確保するために、設計金  
額が250万円を超える建設請負工事につきまし  
ては、原則条件つき一般競争入札を実施して  
おります。

ただ、今、ご質問にありました指名競争入札  
ですが、例外的に250万円を上回る工事につ  
きましても、災害復旧工事などの緊急を要する工  
事とか、あるいは施工上特殊な専門技術を必要  
とする工事、これは地元業者に業者が少ないなど  
の場合なども考えられますが、そういう特別な事  
情がある場合には、例外的に指名競争入札を実  
施しているところでございます。

それ以外にも、250万円までの工事につ  
きましては、いろいろ事務的な問題もありまして、  
従前どおり指名競争入札とか、あるいはさらに  
少額の場合は、見積もり合わせなどの方法で契  
約を行っているところでございます。

ご案内のとおり、先ごろ、談合情報が寄せら  
れて、私も持ってる対応マニュアルによって対  
応しまして、その結果などにつきましては、過  
日、文教常任委員会のほうにもご報告申し上げ  
ましたけれども、この場合は、この工事につ  
きましては、置賜生涯学習プラザの真空式温水ヒ  
ーター更新工事ということで、従来は特殊な工  
事だったものですから、設置の状況からいって、  
特に難しいということで、これまでの保守管理

も含めまして、山形の専門の業者に委託して行っているぐらいのものでございます。このたびはそれの更新工事ということでございますが、前からの分との取りつけの関係とか、あるいは発電設備との接合の部分などもあって特殊なんですけども、地元の業者もできないことはないだろうということで、逆に地元の業者をプラスした形で、山形の工事専門の業者プラスの長井市の業者を足した6社で入札を指名競争入札という形でしたところでございます。

一般競争入札の場合は、条件付きの条件の要件の中に、地域要件というのを定めておまして、これは地域要件は地元の業者という意味です。地元の業者の育成ということの観点から、そういう要件を入れておるわけですし、それを適用できなかったということで、指名競争入札にしたという経過でございます。

指名競争入札にすると、どうしても談合が起りやすいのではないかとということでございますが、実際、特定の業者を指名するわけですので、必ず談合が起きるといふこと、談合をしているといふことはもちろんないとは思いますが、起りやすいといふことはあろうかといふふうに思います。以上でございます。

○安部 隆委員長 15番、小関勝助委員。

このことで市長にお伺いしますが、金額の設定などもあるけど、今回はそれをはるかに超えてるわけですよね。プラザの関係です。電気工事の、私わかりませんが、金額わかりませんが、この不調に終わったと。こういうことが繰り返されてるわけです。ですから、何で条件つきでも一般競争入札にできないのかなど。私は率直につくづく思うんですけども、これからそういう方向に進めていくべきだと思うんですが、市長、どのようなご見解をお持ちですか。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 副市長のほうから詳しい説明が

ありましたけれども、私のほうから簡単に申し上げますと、全部一般競争入札にすべきだといふふうに思っております。ただ、条件をつけないと、やはり一般競争入札になりますと、例えば長井市内に届け出をしたどの業者さんも入れるわけですね。そうしますと、市内の業者さんが非常に厳しくなるだろうと。結局、市の予算で行う工事については、できるだけ地元還元もありますので、条件つきというのは、長井市に本社かあるいは支店がある会社が資格がありますよということで、一般競争入札。これは予定価格を明示しまして、それでしていただくという格好なんです。

ただし、先ほど特殊な工事って言いましたけれども、電気設備、機械設備、これらについては、長井市内に本社あるいは支店がある会社ってのは、機械設備は恐らく1社か2社しかないんですね。それから、電気設備も最大限で3社ぐらいなんですよ、ちょっと大きい工事になりますと。そうしますと、入札にはやはりできるだけある程度の数がそろわないとだめだと、最低で3社、できれば5社、6社が競争するにはちょうどいいだろうということから、残念ながら今回の機械設備、これ学習プラザは機械設備ですね。それから、不調に終わった、いわゆる長井小学校の体育館の電気は、これは残念ながら指名でしないとなかなか難しいということがあったんです。

じゃあ、長井小学校のほうは、1本で全部含めりゃいいんじゃないかと。機械設備は小さかったんで、含めました。しかし、電気設備はある程度大きかったですね、3,000万円以上。そうしますと、市内の企業さんから、そういった設備屋さんからお聞きしますと、いや、今は本当仕事なくて、100万円、200万円でも、これは大変な工事なんだと。それが数千万円もあるんだったら、ぜひ分離させてもらって、我々にさせてほしいという声がたくさんありましたので、

それで今回は別に分けて発注したと。しかし、残念ながら不調に終わったというのは、設計のあり方とか、あるいは参加した業者さんの積算が誤りだったのか、そこを今、精査してるところですが、今回は特殊な例だと思いますし、あと談合情報も、長井市では、私が市長になってから初めてですし、ほかの事例も結構あるんですね。ですから、これはある程度しっかりと公平性を保ってやっていますので、必要なものは従来どおりやるべきであろうというふうに思っています。ただ、細心の注意を払ってやらなきゃいけないと思っております。

○安部 隆委員長 15番、小関勝助委員。

○15番 小関勝助委員 市長からは、基本的には一般競争入札だというような答弁いただきましたので、ぜひそういうような方向で進んでいただきたいなど。いろいろ事情はわかりました。ただ、談合情報とか不調に終わったという経緯も踏まえて、ぜひ今後、この教訓を生かしていただきたいなど、こう思います。

それでは、次に進みます。次に、3番目の公共施設のLED、発光ダイオードですか、これについてお伺いしますが、これは市民課長にお伺いします。

今の電球、何か新聞で見ますと、国からも自粛ですか、製造もだんだんと縮小するというようなこともあったり、あとほかの自治体でもLEDにどんどん切り替えるというような情報もある中で、今現在の長井市の公共施設のLEDの状況、どのようになっていますか。

あと、今後の計画などあったら、その2点について教えてください。

○安部 隆委員長 宇津木正紀市民課長。

○宇津木正紀市民課長 現在、市内には29基のLED防犯灯、私、範疇は防犯灯ということでお答えさせていただきます。

21年度から行っておまして、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業、防犯灯低消費電

力化事業で、国の100%補助で行いました。事業費は70万円で、このときは7灯の防犯灯、まだ高額でしたのでLED化いたしました。22年、23年度については、東芝ライテック様から10灯、東北電力様から4灯のLED防犯灯を寄附いただきました。市の一般財源で取りつけておるところでございます。

それから、これからの計画ということでございますが、市内には約3,000灯の防犯灯や水銀灯がございます。これを一気にLED化するのは、価格がかなりまだ高いということで、相当お金かかって、財源確保が困難で、業務量も相当なるといって、LEDの防犯灯の低価格化を見据えまして、電源立地交付金も活用しながら有利な補助事業を抽出して、何年かかけてLEDにしていきたいというふうに考えておるところでございます。

○安部 隆委員長 15番、小関勝助委員。

○15番 小関勝助委員 ぜひそのような方向で進んでいただきたいんですが、実は、市民課上の電気がLEDになってますよね。あの下にまだ普通の蛍光灯ありますよね。職員に聞いたら、やはりLEDだけではちょっとなかなか見えづらいと、書類が。そういうことはあるんですか。何かせつかくLEDにした中で、下の方、蛍光灯やってるわけで、それも変だなと思ってるんですが、その辺どうなんですかね。その辺、課長としてどのような考えお持ちですか。何か暗い、ルクスちゅうか何ですか、LEDは別に言うそうなんです。それ何かあるんですかね。教えてください。

○安部 隆委員長 宇津木正紀市民課長。

○宇津木正紀市民課長 LEDは、面ではなく点ということで、点の光ということで、虫も余り寄らないということで、これまでの通常の蛍光灯とは違う性格であります。あと、照明の明るさについては、照度をはかって、基準に達しているような形で設置しているところございま

す。

○安部 隆委員長 15番、小関勝助委員。

○15番 小関勝助委員 今回の答弁ではちょっとわかりづらかったわけですけど、よろしいです。市民課の上にLEDがあって、下にまた蛍光灯やってるわけですよね。どうなんだ、おかしいんじゃないですかと。そんなこともあった、素朴な考えでありますので、これ以上にしますけれども、あと、この件について市長にお伺いしますが、今、東芝ライテックの話が出ました。せっかく長井市に照明器具つくってる会社あるわけですから、それこそ経済波及効果もありますし、やはり節電対策ですか、そういう二つの相乗効果があると思うんですが、その辺、やはりこれから積極的に、企業と連携も深めながら、LED、どんどん導入すべきと思うんですが、特に街灯などは寿命も長いし、取りつけも大変なようです。ですから、一回取りつけると寿命も長いし、費用対効果からは大変効果があると思うんです。その辺、積極的に取り組む考えとか、市長の見解、少し聞かせてください。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

いろいろ地区長さんからお話を聞きますと、地区内の防犯灯がやはり2年に1回ぐらいは切れるんだということで、しょっちゅう切れてるっていうんですね。いろんなところで。そんなことから、やはりLEDで将来、3,000の防犯灯はまずかえたいものだなというふうに思っております。ただ、委員からありましたように、JISマークにはなっていないんだそうですね、LEDが。ですから、照明が、よく聞いてみますと、60ワット程度とか、それちょっと明確じゃないものですから、やはり暗くならないような、そういったことなどももう少しはっきりしてから導入したほうがいいのかと思っておりますが、ぜひ財源をきちっと確保して、これは1年、2年ではできないと思いますが、何年かかけて

全部かえていくことが省エネにもつながりますし、そしてライテックさんも白熱球の生産がもうストップしてますんで、かなり仕事が減っていると。それに関連して段ボール箱とか、あるいは運送会社などの仕事も減ってるということもお伺いしてますので、何らかのやはり地元としての経済対策もあると思いますので、ささやかながら、この地元から少しでもそういった輪を広げるように頑張んなきゃいけないと思っております。

○安部 隆委員長 15番、小関勝助委員。

○15番 小関勝助委員 ぜひライテックさんあたりと連携とっていただいて、これ、前向きにひとつ進めていただきたいなど、こう思います。

最後の異常低温による道路災害（凍上災）の取り組みについて、これ、最初に建設課長にお伺いします。

これは、前にもこの事業あったそうですけれども、そのときは残念ながら、財政が厳しくて見送ったということもあります。やっぱりご案内のように、かなり長井市の道路、歩道、かなり傷んでます。そんなことで、危険です、やっぱりね。そして、それをまず応急処置、穴を埋めるというような感じで、非常にどうなってるのかなど。長井市に行くと、かなり継ぎはぎだと、飯豊町や白鷹町に行くとちゃんとしてると、そういうような声も聞こえる中で、今回、この凍上災、これが国のほうで進めるというふうなことをお聞きしました。現在、このような補助事業に取り組む状況、どのような状況になってますか、建設課長、教えてください。

○安部 隆委員長 渡部政明建設課長。

○渡部政明建設課長 小関勝助委員のご質問にお答えいたします。

長井市における凍上災の取り組み状況についてご説明申し上げたいと思います。

平成24年、ことしの3月9日に、山形県内18の観測地点において、過去15年で最大の凍結指

数を記録したということが、山形県より報告がありました。このことによりまして、凍結指数は採択基準を超過したところです。その後、山形県のほうから事前調査として、災害状況の把握を依頼され、翌月4月6日には国土交通省より、低温による災害復旧事業の通知があったところです。

これを受けまして、長井市では、4月中旬から5月下旬にかけてまして、概数報告や現地においての採択要件の精査を行いまして、山形県の指導のもと、市内5路線、延長にして約5.5キロメートルを災害報告を行うところでございます。

それで、来月下旬、7月23日と24日に、国のほうから国土交通省並びに財務省の査定官が現地で災害査定を受ける予定となっております。以上です。

○安部 隆委員長 15番、小関勝助委員。

○15番 小関勝助委員 このことについて、市長にお伺いしますが、やはりこれ、道路って動脈なわけですよ。生活道路、そして雪国ですから、かなり舗装も傷んでるというようなことで、これ積極的に取り組む考え方、お聞かせください。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

残念ながら6年前は長井市が全く申請しなかったということで、非常に残念だったんですが、今回は凍上災が出るという情報から、万全を期して申請を準備したところでございますが、6年前とは違って、今回はかなり厳しい査定があるということで、ほかの市町村なんかもかなり慎重になってるようでして、今のところ、西置賜では長井市だけみたいな話も聞いております。ただ、いろんな制約があって、思ったようには認定を受けられない可能性があるんですが、市としてはできるだけこの凍上災も活用しながら、傷んでいる市のインフラ整備、整備してまいり

たいと思っておりますので、積極的にお願いしてまいりたいと思っております。

○安部 隆委員長 15番、小関勝助委員。

○15番 小関勝助委員 ありがとうございます。これで質問を終わります。

## 佐々木謙二委員の総括質疑

○安部 隆委員長 次に、順位2番、議席番号10番、佐々木謙二委員。

○10番 佐々木謙二委員 おはようございます。

台風4号が8年ぶりで上陸などしてくれたものですから、全国各地で大変な被害に遭われている方が多数おられるようでございます。心からお見舞いを申し上げたいなというふうに思います。長井市はおかげさまでというか、幸いといえますか、私も来るときに、野川の水を見てきたんですが、増水もしておりませんでしたし、よかったなと安堵したところでございました。

それでは、通告しております2点について、少しぎょうぎょうしいような内容で通告をさせていただきましたけれども、内容は至って易しくしたいなというふうに思っておりますので、ひとつよろしく願い申し上げます。

1番目の執行機関と議会の関係についてということで、3点ほどお伺いをさせていただきたいと思っております。

まず、議会の機能に関して、一つ申し上げさせていただきます。

市町村の住民全員が、団体といいますか、地方公共団体に意思を表明するということが、これは不可能でございます。また、住民全員が政治や行政に参加をすると、これも不可能でございます。したがって、必然的に代表者を選んで、民主主義の要請にこたえる形で、代議制で間接